

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第18回理事会議事録（案）

- 日時：平成27年6月6日（土）11:00～12:30
- 場所：宜野湾マリン支援センター
- 出席（役員）：中野義勝、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、沖縄県ダイビング安全対策協議会（案納昭則）、エコガイドカフェ（猪澤也斗志）、上原直（NPO法人グローイングコーラル）、環境省那覇自然環境事務所（小池大二郎）、WWF ジャパン（権田雅之）、自然保護・緑化推進課（謝名堂聡）、宮古島マリンリゾート協同組合（新村一広）、西平守孝、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）、藤田喜久、沖縄県立博物館・美術館（山崎仁也）
- 委任状：安部真理子（沖縄リーフチェック協会）、岡地賢（コーラルクエスト）、梶原健次、木村匡、後藤亜樹、佐藤崇範
- 事務局長：沖縄県環境生活部自然保護・緑化推進課（中村章弘）
- 事務局：沖縄県環境生活部自然保護・緑化推進課（出井航）
- 運営委員：沖縄県環境科学センター（山川英治）
- 議事録署名人：グローイングコーラル（上原直）、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）

役員23名中、上記13名の出席者（会長、副会長、理事10名、事務局長）および6名の委任状により、成立要件である理事の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。

議事録署名人としてグローイングコーラル（上原直）、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）が選出された。

【アンダーライン部分が理事会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

【「→」は説明事項や提言事項に対する意見】

（1）将来委員会について（資料1）

- ・事務局より将来委員会の委員の提案があり、提案された委員について承認された※。また、企画委員長を委員に追加したいと提案があった。提案された委員は以下のとおり。

委員長：吉田稔

委員：中野義勝、西平守孝、花井正光、藤田喜久、佐藤崇範、謝名堂聡、権田雅之

- ・今回決まった将来委員会の委員に若手がない。協議会の将来を考える上で、若手からの意見は必要だと思う。委員は後で追加できるのか？

→委員会の細則によるが、追加はできる※。将来委員会の目標等が決まった後で、若手の会員に参加してもらえるように検討してはどうか。

- ・将来委員会のメーリングリストを作成する。

※事務局補足

- ・規約上では、委員会の委員長は会長が任命する必要がありますが、理事会での承認は必要ありません。
- ・規約上では、委員会の構成は会員の有志によるので、協議会会員であれば、だれでも委員に

なれます。また、会員でなくとも、オブザーバーとして参加できます。

(2) サンゴ礁ウィーク 2016 について (資料 2)

- ・事務局よりサンゴ礁ウィーク 2016 実施体制及びスケジュールが提案された。

→

→広報委員会より、広報委員会で広報先のリストを作成するので、リストの確認と広報の協力を依頼 (特に SNS)。

→実施要領等は事務局が作成する。

→実施者が集まって報告などを行う機会があるとよい。離島からも参加できるように旅費についても検討する。

→7~8 月にサンゴ礁ウィークのイベントに参加決定できない団体もいるのではないか? 国際サンゴ礁年の時のように、ホームページから簡単に登録できるようにしてはどうか?

→スケジュールを「参加イベントの公募」から「参加者・参加団体の公募」とすることで、イベントの内容が具体的に決まっていなかった人も参加できる。

(3) その他

案対協写真展について (~1:01:20)

- ・ダイビング安全対策協議会解散について。解散となった場合、空港で行っている写真展を、協議会主催でできないか? 経費もかかるが、広報活動として利用していただきたい。まだ解散が確定してはないので、確定した場合はメーリングリストで提案したい。

→時間も限られているので、事務局に一任したい。

事務局と案納さんの間で具体的に詰めていくことが承認された。